



兼業農家の長男に生まれました。
ヒノヒカリの有機栽培にこだわる父の農作業を見て育ちました。
往復3時間、奈良市内の中学、高校に6年間通いました。
陸上競技部に所属。110mハードルで奈良市優勝、奈良県準優勝!
でも、力不足。全国大会には出られませんでした。
自宅浪人して京都の大学へ。ボロボロの学生寮での共同生活を経験。
さまざまな国からの留学生と語り合い、ちょっと世界を知りました。
講義では、経済や財政学を、少しはマジメに勉強しました。



卒業後、東京へ。思うように結果の出ない営業という仕事では、
頭と足腰を鍛えられ、挫折も味わいました。
父のケガをきっかけに、奈良にUターン。農業を手伝いながら、
市民ボランティア、地域の人たちと汗を流す楽しさを体験させていただきました。
2015年、29歳で奈良県議会議員に当選させていただき、政治家の覚悟、決断の重要性、
温もり、心のある、弱い方の痛みのわかる行政の大切さを、日々、痛感しました。

その中で、奈良市政の現状に、大きな疑問と不安を持つようになったのです。

◎

11歳年上、2児を育てる妻と結婚。4人家族になりました。そして…
「このままの奈良市では、子どもたちに申し訳ない。言い訳できない」
チェンジ!奈良市を変えよう—。家族が背中を押してくれました。
これまでの奈良市政。この12年間を振り返りながら、
資料を読み、さまざまな人の話を聞きし、自分なりに勉強してみると、
その実態に“怒り”すらこみ上げてくる。みんなの力でなんとかしなければ…。



ホントの改革!本気の改革!根こそぎ改革!

粘り強く、根っこから。じっくり取り組む農耕型の「真・改革」が必要です。

私は、その先頭に立ちます。

**“忘れました”
は許されません!**

市長の多選禁止

どこに行ったの?

12年前のあの宿題 マニフェスト

“次の4年”だけでなく、今、奈良市は、
10年先、20年先、その先を考えるとき。

**令和の「真・改革」は、
新しい世代が引き受ける。**

中川たかし
[チームTAKASHI オフィス]

〒630-8225 奈良市西御門町28 北川ビル1F(近鉄奈良駅前)
TEL: 0742-22-1790 FAX: 0742-22-1799
E-mail: info@nakataka.jp



変えよう奈良!ご意見、ご提言お待ちしています。

**リーダーとしての覚悟。
トップを目指す決意。**



奈良県議会議員(奈良市・山辺郡選挙区)

2期連続トップ当選

実績ある35歳

**農家育ち
東大寺学園・京都大学卒**



中川たかし



**混迷、沈滯する奈良市から、
実り豊かな、夢いっぱいの奈良市へ。**

12年間、奈良市の時計は、思わぬ方に進んでしまった。

参考資料「あなたのまちの財政状況(奈良県発行)」(2019年度決算)ほか

**＼気がつけば、／
奈良市の財政、ワースト記録
のオンパレード! 県が「重症警報」を発令!**

2020年11月・奈良県発表/県内39市町村の「財政カルテ」より

／市の貯金、それだけ!? / **＼この先、どうなる!? /**

**積立金残高比率
県内ワースト 2位** **将来負担比率
県内ワースト 3位**

借金約2,000億円に対して、奈良市の積立金残高(財政調整基金、減債基金)約14億5千万円。標準財政規模^{※1}の、わずか1.9%。「ほぼ枯渇している」と県から厳しい指摘を受けました。一方、街の住みここち「自治体」全国1位^{※2}に選ばれた王寺町は、人口が奈良市の1/14程度にもかかわらず、災害など非常時に備えて50億円以上を

ガツチリ“貯蓄”。住民一人当たりに換算すると奈良市の約55倍という余裕の金額。うらやましい豊かさです。

知事記者会見
「入院しなさいということ!」

全国の中核市58都市^{※3}との比較!

※2019年度

**経常収支比率
全国ワースト 5位**

一般的に80%を超えると要注意、100%を超えると赤信号といわれる財政指標。奈良市は99.7%。3年連続100%を超え、ワースト2位の年もありました。財政悪化の主な要因として、「はぐくみセンター」建設(143.5億円)などによる公債費増加、高水準の人事費(例:技労職の給与水準は中核市平均より月6万1千円、奈良県より9万4千円高い)が県からも指摘されています。財政再建は待ったなしです。

なぜ?

※1 標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額

※2 大東建託株式会社「賃貸未来研究所による『街の住みこちランキング2020』より

“負”の遺産、“不”の行政。止まらない“負の連鎖”!

理由 1 決断力“不足”!

スローガンだけで、
実は進んでいない行財政改革

「なら100年会館」など赤字体質の“豪華公営施設”的維持管理を行う「奈良市総合財団」の経営改善(市役所からの管理料でムリヤリ黒字をしている実態)など、手つかず、うやむやのまま放置されている“負の遺産”的な数々。下水道料金の15%払い過ぎ問題(市民の財布から払われた6億円が県内他地域の赤字補てんに流用)など、市民の大切なお金、財産を守ろうとしない現市政。「県域水道一体化」が進めば料金値上げは必至。必要なのは、経営感覚と責任感、トップの決断。先送りされている現状に、もう目をつぶってはいられません。



理由 2 司令塔“不在”!

減少する市税収入。
戦略のないまま負担は増加

人口減少、高齢化。國の方針により地方交付税も減少。社会保障関連支出は増加する一方です。重視すべきは、奈良の“宝”、観光振興を含めた経済活性化。経営センスのない従来発想のままでは、激化する“市町村競争”に勝てません。財政難は言い訳にならない。明快な指針に基づく“未来への投資”が必要です。



理由 3 行き先“不明”!

子育て支援の次の一手、
「人口増加策」が見えない

奈良市には、移住促進などの人口増加策は必要ないという判断なのでしょうか。近鉄奈良線主要駅の定期券乗降客は約20年で半減。子どもたちが育った後、奈良のまちはどうなる? 残された親世代の老後はどうなる? 子育て支援に力を入れている都市の多くは、その次の世代の育成、広報・PRを含め、住民目線のまちの魅力アップに力を注いでいます。未来展望のないバラマキは、“将来への不安バラマキ”。住宅地で増加する空き家対策も喫緊の課題です。

現市政の体質を象徴する
残念な3つの喝!

隠蔽・
まやかし

新斎苑・覚書秘匿
地元紙にスクープされた「新斎苑(火葬場)」使用期限の密約問題。市民は何を感じていいのか? 早期完成は可能なのか? 不信、つのる不安!

クリーンセンター建設

奈良市にとって財政的メリットも大きい「広域ゴミ処理・先進施設」建設。トップの決断がないまま、議論が進まず、宙ぶらりん! 公約に掲げていたにも関わらず…。※奈良市・大和郡市・斑鳩町

あいまい・
先送り

新斎苑・土地買収疑惑

市長裁量権の逸脱濫用。約1億1640万円の損害賠償請求を命じる判決。市民不在のまま、市長自身が賠償請求権放棄を促す動きが!? まさか…。西大寺駅北口の再開発が遅れた原因もトップに。

独善・
無責任

市民、市議会、市役所職員、そして、
県庁との溝、対立、責任転嫁。
「その場しのぎ」「改革先送り」が限界にきた12年!



根っこから根本治療
中長期視点の「真・改革」が必要です。



キーワードは、

夢、命、幸せ。

まず、何よりマイナスをゼロに!

目に見える財政再建、
借金返済!

夕張市の「借金時計」をお手本に、市役所から一切のムダをなくす!「身を切る改革」は、市長の給料2割カット・退職金返上から。



“手つかずの改革”に鋭いメスを!

“財布の中身”がわからない「奈良市総合財団」の財政事情を徹底検証! 赤字の実態を明らかにすることから、徹底改革に着手!

誠実な話し合い、ウソ、偽りのない情報開示!

新設施建設問題に納得のいく解決策を! 市長裁量権の逸脱濫用。「新斎苑」土地買収疑惑、秋には最高裁判決。「法律を守る」当たり前前の行政へ!

ブラック化した職場!
市役所の大改革!

職員のヤル気喚起で市民サービス向上! 現場アイデアを尊重する風土に転換。ワクチン接種事務の混乱は氷山の一角! パワハラ撲滅、適材適所の職場に。

国、県と議論する
“常日ごろ”的な関係づくり!

市民に損をさせている下水道料金払い過ぎ問題。上水道の県域統一化問題。パフォーマンスではなく、今、市民のために交渉、判断するリーダーが必要。

10年先を、見据えた決断を。

そして、みんなのチカラと決断で、
20年先、50年先、その先へ。

2021
人、きらめく♥
暮らし、ときめく♪
奈良
Dream City Project



大きなお金をかけなくても、変えていく未来がある!

持続可能な世界へ。
“持続可能な幸せ”を
大切にする
奈良市へ。

地域の人たちの幸せを、
日々、自治会とともに考える。

税金滞納は“生活困窮SOS”。
変化を敏感にキャッチ。

仕事を共有し、全員で…。
当たり前の職場、市役所へ。

そして、夢のタネまき♪

観光振興と
移住促進策を一体的に。

お年寄り、障がいのある方、
社会的マイノリティも…。
笑顔で住み続けられる奈良市へ。

子育て支援は、パフォーマンスではなく、基本を大切に、じっくりと。

観光都市は
環境都市であるべきだ。

おいしい奈良。稼げる農業。観光・
産業・食育・自然保育の視点からも。

郷土愛に満ちた“誇りある故郷”奈良市へ! 子ども世代や、移住家族にも“魅力いっぱい体験”的仕掛けづくり。

多様性(ダイバーシティ)を認め、支え合う包容力のある奈良市へ! 交通機関のバリアフリー化は当然。笑顔で住み続けられる奈良市へ。好評だった住宅リフォーム補助金を復活。空き家対策で住宅地に活力を!

「子どもセンター」建設の一環、「こども園・保育所」現場予算不足では本末転倒。現場から悲鳴。市立一条高校入学定員もできる限り維持。覚悟と責任ある次世代育成を。

「SDGs未来都市選定」を目指し、サステナブルな奈良市へ! クリーンセンター(清掃工場)最新施設を環境教育に活かす発想を。ゴミの分別もずっと楽になる。

経済、教育、環境、日常生活…。グリーンパワーが多面的に光り輝く奈良市へ!

SDGs
未来都市とは?

日本のSDGsモデルの構築を目的として「経済」「社会」「環境」について優れた提案(計画)をした自治体を国が選定する制度。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

今、根っこから
生まれ変わって、
実り豊かな、
夢いっぱいの
奈良市をつくろう!